

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

| | | | | | |
|----------------|--|--|----------------|-------|---------|
| 専門分野区分 | 作品制作 | 科目名 | DC制作実践(教室5-D2) | 科目コード | D1920A1 |
| 配当期 | 前期・後期・通年 | 授業実施形態 | 通常・集中 | 単位数 | 8単位 |
| 担当教員名 | 澤田 卓也 | 履修グループ | 3G(MA) | 授業方法 | 演習 |
| 実務経験の内容 | SPデザイナーとしてデザイン会社に2年、商品制作会社に2年。その後、フリーランスとして10年間に渡りディレクション業務を請け負った経験を活かして、作品制作を実践的に指導する。 | | | | |
| 学習一般目標 | <p>ポートフォリオの完成度を向上させるために、自ら追加、改善、改良をすることができるようにします。</p> <p>また、自己PR作品の課題では、各自が設定するテーマや問題解決に向けた表現作品を通して、自己形成の向上と、ライフワークの発見に取り組みます。自身の設定するテーマや作品が、社会に対して、どの科目や分野の位置付けになり、どのように貢献できるのかを明確にしてください。</p> <p>最終のプレゼンテーションに向け、自分の作品を客観的に分析することで、受け手へのアプローチ方法やコミュニケーション技術の向上につなげる事を目指して下さい。</p> | | | | |
| 授業の概要および学習上の助言 | 自己PR作品の課題では「名刺制作3種類・自伝作品1種類・自主作品2種類」の中から選択します。基本的には各個人が自主的に制作していく事を前提としますが、「課題の選択」「テーマの研究」「表現技術」など、各個人の技能や個性にあわせ、要所要所に助言を行います。 | | | | |
| 教科書および参考書 | 参考作品などの資料を適宜に配布 | | | | |
| 履修に必要な予備知識や技能 | <p>希望とする職種や企業などの情報をリサーチし、情報を集めておく必要があります。</p> <p>また、自身の設定するテーマや表現作品が、希望する、職種や企業とどう関連し自己アピールすることができるのか、もしくはどのように貢献できるのかを考察し、就職活動や将来のワークスタイルに活用する準備をして下さい。</p> | | | | |
| 使用機器 | <p>一眼レフカメラ、(教員も用意します)</p> <p>その他、個人カメラの使用も可(できればスマホ以外のコンパクトカメラや一眼レフカメラなどがあれば望ましい)</p> | | | | |
| 使用ソフト | Adobe Illustrator、Adobe Photoshop | | | | |
| 学習到達目標 | 学部DP(番号表記) | 学生が達成すべき行動目標 | | | |
| | 2 | 自身でテーマを設定し、問題解決などに向け企画を立案することができる。 | | | |
| | 2 | 自身でテーマを設定し、問題解決などに向け作品として表現することができる。 | | | |
| | 3 | 各自が設定したテーマや問題解決に向けた作品制作に対し、意欲的に取り組むことができる。 | | | |
| | 4 | 各自が設定したテーマや問題解決に向けた作品制作に対し、口頭で説明することができる。 | | | |
| 5 | 設定したテーマを深く掘り下げ、作品のクオリティーを継続して向上させることができる。 | | | | |

| 達成度評価 | 評価方法 | 試験 | クイズ 小テスト | レポ ート | 成果発表 (口頭・実技) | 作品 | ポート フォリ オ | その他 | 合計 | |
|---------|------------------|---------------------------------|-------------|----------|-----------------|----|-----------------|-----|----|-----|
| | 総合評価割合 | | | | | | 65 | | 35 | 100 |
| | 学 部 D P | 1.知識・理解 | | | | | | | | |
| | | 2.思考・判断 | | | | | 25 | | 10 | 35 |
| | | 3.態度 | | | | | 5 | | 5 | 10 |
| | | 4.技能・表現 | | | | | 25 | | 10 | 35 |
| 5.関心・意欲 | | | | | | 10 | | 10 | 20 | |
| 評価の要点 | 評価方法 | 評価の実施方法と注意点 | | | | | | | | |
| | 試験 | | | | | | | | | |
| | クイズ 小テスト | | | | | | | | | |
| | レポート | | | | | | | | | |
| | 成果発表 (口頭・実技) | | | | | | | | | |
| | 作品 | テーマ性の掘り下げ深さと、制作表現の技術的評価の両面から判断。 | | | | | | | | |
| | ポートフォリオ | テーマ性の掘り下げ深さと、制作表現の技術的評価の両面から判断。 | | | | | | | | |
| | その他 | 授業への出席、取組み、態度などを含め総合的に判断。 | | | | | | | | |

授業明細表

| 回数 日付 | 学習内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) |
|---------------|--|---------|------------------------------|
| 第1週 04/08 | 授業概要の説明と課題内容の確認。 課題の種類を選択。 制作の資料、素材の調査。 | 講義 | 月曜3限4限に出欠5限は 自習 火曜3限自習 |
| 第2週 04/15 | 自己、または既存テーマの確認。 制作手法、表現方法(メディア)の確認。 企画書と完成期日の計画。 | 講義・実習 | 月曜3限4限に出欠5限は 自習 火曜3限自習 |
| 第3週 04/22 | 進捗の確認。制作手法、表現方法の確認。 企画書の確認。 随時、制作資料収集の更新チェック。 | 講義・実習 | 月曜3限4限に出欠5限は 自習 火曜3限自習 |
| 第4週 05/13 | 制作依頼業者の情報収集(印刷や素材加工など)。 制作依頼への指示図面製作(版下製作、 加工図面、素材発注など)。 | 講義・実習 | 月曜3限4限に出欠5限は 自習 火曜3限自習 |
| 第5週 05/20 | 制作依頼業者への発注と納品期日の スケジュール管理。納品期日の確認。 進行確認と調整。ヒヤリング。 | 講義・実習 | 月曜3限4限に出欠5限は 自習 火曜3限自習 |
| 第6週 05/27 | 作品全体の進行調整。ヒヤリング。 制作進行 | 講義・実習 | 月曜3限4限に出欠5限は 自習 火曜3限自習 |
| 第7週 06/03 | 進捗の確認。 証明写真の撮影。編集。修正。 | 講義・実習 | 月曜3限4限に出欠5限は 自習 火曜3限自習 |
| 第8週 06/10 | 進捗の確認。 証明写真の撮影。編集。修正。 | 講義・実習 | 月曜3限4限に出欠5限は 自習 火曜3限自習 |
| 第9週 06/17 | 証明写真制作のチェック。 制作進行の確認と調整。ヒヤリング。 | 講義・実習 | 月曜3限4限に出欠5限は 自習 火曜3限自習 |
| 第10週 06/24 | 完成作品の撮影(希望者)。 編集。修正。 | 講義・実習 | 月曜3限4限に出欠5限は 自習 火曜3限自習 |
| 第11週 07/01 | 完成作品の撮影(希望者)。 編集。修正。 | 講義・実習 | 月曜3限4限に出欠5限は 自習 火曜3限自習 |
| 第12週 07/08 | 完成作品の最終チェック。 | 講義・実習 | 月曜3限4限に出欠5限は 自習 火曜3限自習 |
| 第13週 07/22 | 最終合評、プレゼンテーション。 | 講義・実習 | 月曜3限4限に出欠5限は 自習 火曜3限自習 |
| 第14週 07/29 | ポートフォリオへの追加とまとめ。 | 講義・実習 | 月曜3限4限に出欠5限は 自習 火曜3限自習 |